

『エイビーロード』

2017年年末年始海外ツアー問い合わせ概況

人気旅行先は1位「台北」、2位「オアフ島」、3位「セブ島（フィリピン）」
 出発日は12月26日～1月4日にかけて分散、29、30日がピーク
 「成人の日」も含めた、遅めの日程で検討する人が増加

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）に設置されたエイビーロード・リサーチ・センター（センター長：沢登 次彦）は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』（<http://www.ab-road.net/>）ユーザーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2017年年末年始の海外旅行マーケットを考察しましたのでご報告します。

結果要約

1. 問い合わせ時期・・・P2

→直前予約の進んだ前年に比べ、やや前倒しの傾向。

2. 人気旅行先・・・P2、P3

→1位「台北」、2位「オアフ島」、3位「セブ島（フィリピン）」。
 4位に「バンコク」が6ランクアップ、圏外から9位に「香港」がランクインし、アジアに勢い。
 方面別ではヨーロッパのシェアが22.2%と前年より3.6ptアップ、回復傾向に。

3. 日数、希望する出発日、帰着日・・・P3、P4

→出発日は2017年12月26日（火）～2018年1月4日（木）に分散化、
 ピークは12月29（金）、30日（土）。
 帰着日のピークは2018年1月2日（火）、3日（水）だが、8日（月・祝）までゆるやかに続く。
 例年に比べて1月に入ってからのお出発・帰着が増加、「成人の日」まで含めた休暇が増える傾向に。

[集計の定義]

- ※1 前年問合せ実績を100%としたときの、2016年の問合せ実績を%で表示
- ※2 2017年年末年始の期間の定義は、2017年12月23日（土・祝）～2018年1月8日（月・祝）のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。集計対象期間はすべて同じ年の7月1日～11月15日まで
- ※3 問い合わせの定義：『エイビーロード』カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、サイト経由での旅行会社のホームページへのリンク数を含めた数値

【本件に関するお問い合わせ先】

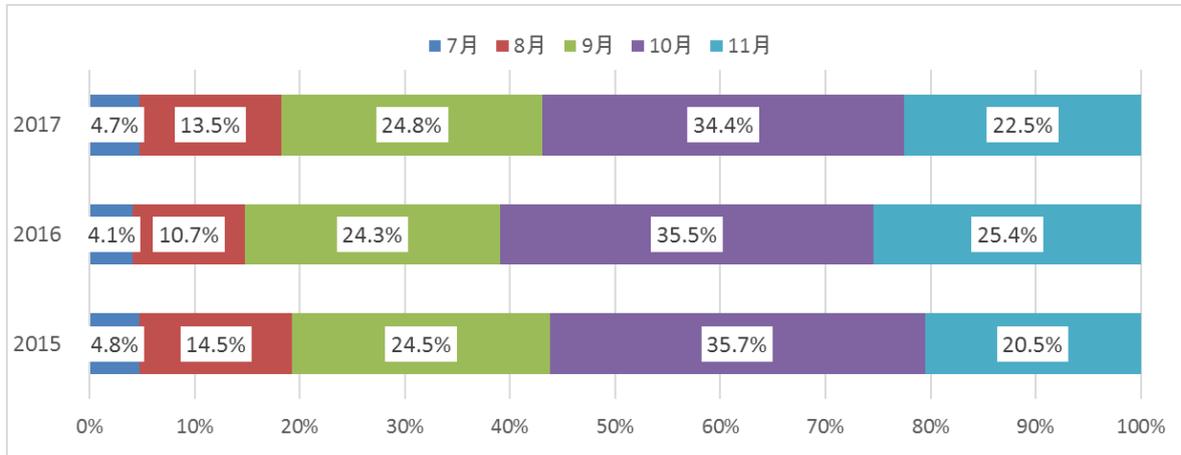
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

1. 問い合わせ時期

2017年の年末年始期間（2017年12月23日（土・祝）～2018年1月8日（月・祝）のいずれかが旅行期間に含まれる旅行）の新規問い合わせ数（2017年7月1日（土）～11月15日（水）までの問い合わせ）を集計した。問い合わせ時期をみると（データ1）、直前予約化の進んだ2016年と比べて「8月」が微増、やや前倒しになり、2015年とほぼ同じレベルに戻った。

※1 問い合わせの定義：『エイビーロード』カスタマーのメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値

■データ1：問い合わせ時期（2015～2017年比較）



2. 人気旅行先

都市別のシェアランキングは（データ2）、1位が「台北」（7.3%）、前年よりシェアは落としたが、2位の「オアフ島」（6.3%）を上回った。ベスト3の顔ぶれは2016年と変わらないが、4位に「バンコク」（3.1%）が6ランクアップ、9位に「香港」（2.2%）がベスト10入りするなどアジアに勢い。「グアム」は圏外となった。方面別にシェアをみると（データ3）、「アジア」が年々増加傾向にあり2017年は半数近くを占めた。「ヨーロッパ」（22.2%）と、前年（18.6%）から3.6ポイント増加し、回復傾向にある。

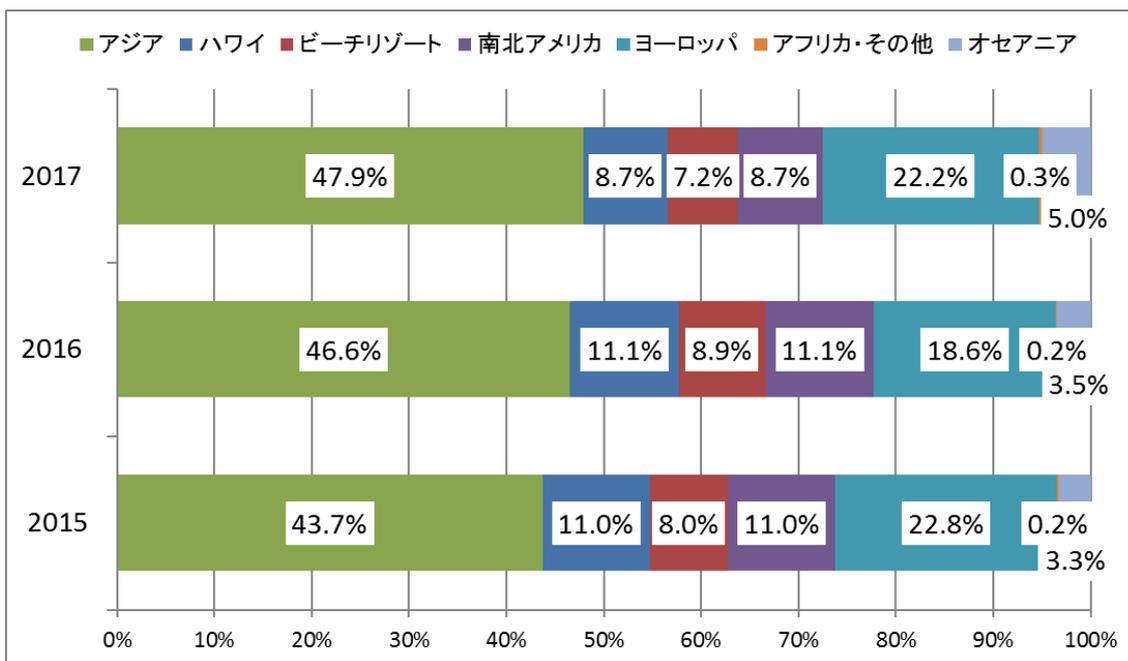
■データ2：旅行先シェアTOP10 / 参考：2016年、2015年

順位	2017年問い合わせ都市名	シェア	順位	2016年問い合わせ都市名	シェア	順位	2015年問い合わせ都市名	シェア
1	台北	7.3%	1	台北	9.4%	1	オアフ島	8.1%
2	オアフ島	6.3%	2	オアフ島	8.5%	2	台北	5.8%
3	セブ島(フィリピン)	4.0%	3	セブ島(フィリピン)	4.4%	3	グアム	3.9%
4	バンコク	3.1%	4	ローマ	2.9%	4	パリ	3.8%
5	ローマ	2.8%	5	ソウル	2.8%	4	セブ島(フィリピン)	3.8%
6	ソウル	2.7%	6	バルセロナ	2.6%	6	ソウル	3.0%
7	パリ	2.5%	7	グアム	2.5%	7	バルセロナ	2.7%
8	バルセロナ	2.3%	8	バリ島(インドネシア)	2.3%	8	シンガポール	2.5%
9	香港	2.2%	9	ロンドン	2.2%	8	バリ島(インドネシア)	2.5%
	バリ島(インドネシア)	2.2%	10	シンガポール	2.1%		10	ロンドン
				パリ	2.1%		ローマ	2.2%
				バンコク	2.1%			

※2 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング

2. 人気旅行先

■データ3：エリア別シェア（2015～2017年比較）

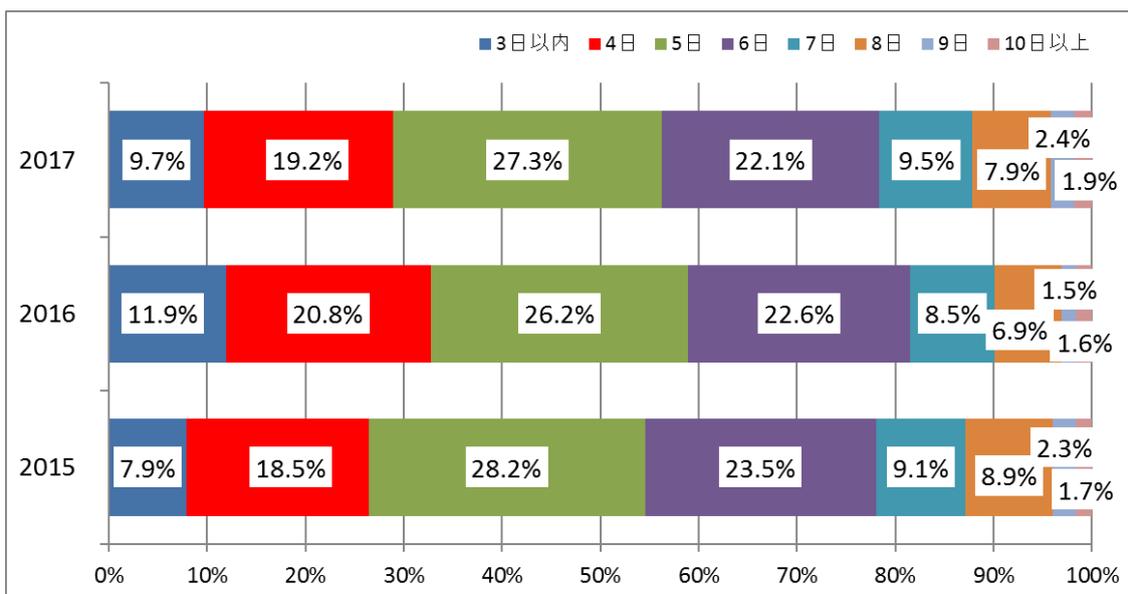


※3 「ビーチリゾート」は上記分類以外のエリアのビーチエリアを示す（グアム、サイパン、ニューカレドニア、タヒチなど）

3. 日数

ツアー日数の分布をみると（データ4）、短期に大きく伸びが見られた2016年と比べて「5日」「7日」などが微増。平均日数では5.5日（データ5）。

■データ4：問い合わせシェア 日数別（2015～2017年比較）



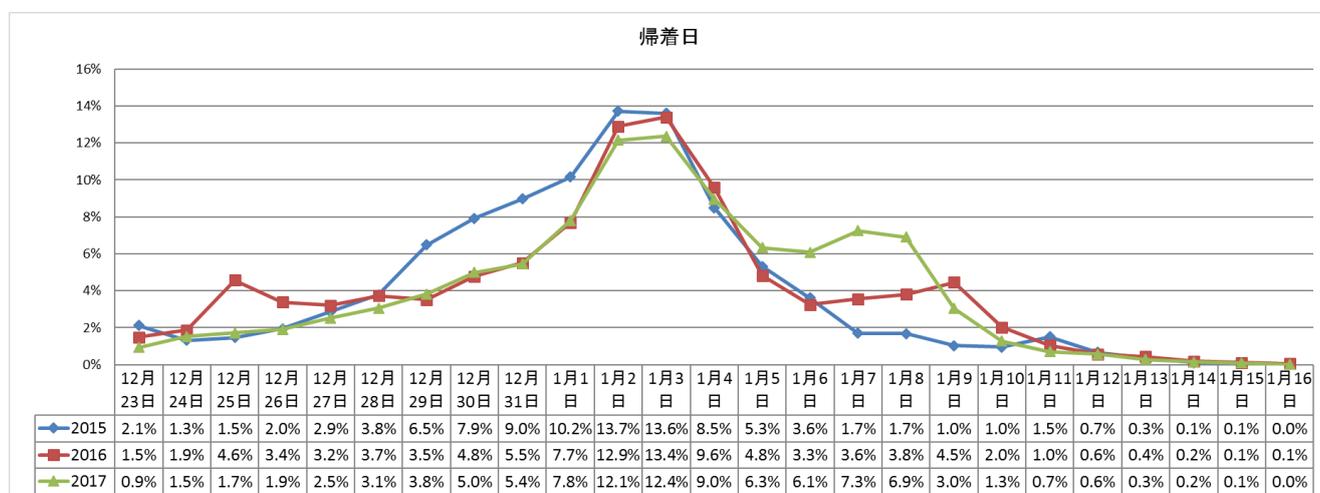
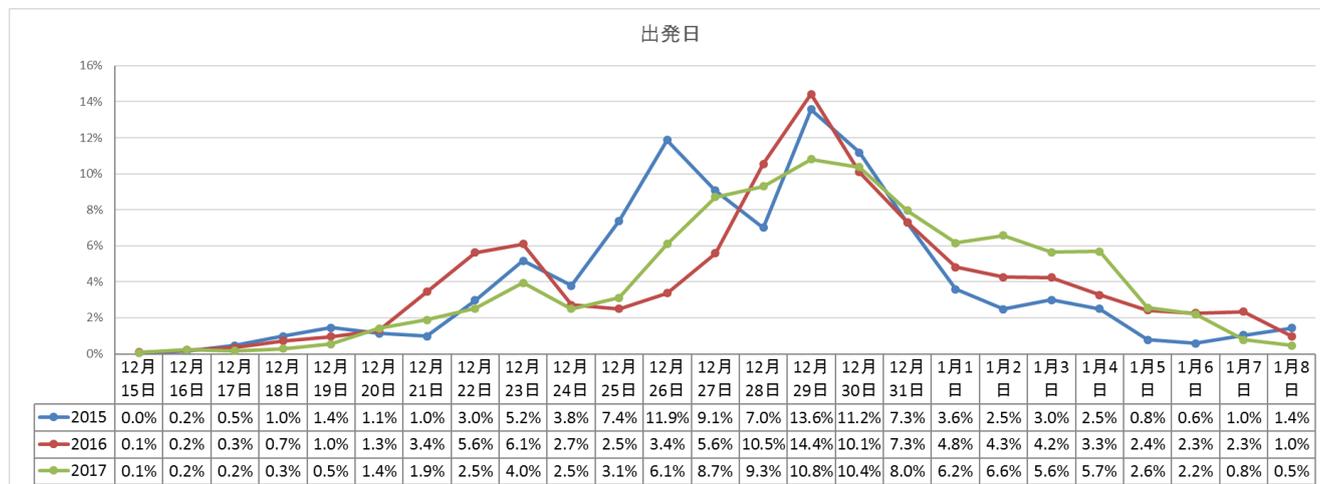
■データ5：平均日数（2015～2017年比較）

	2015	2016	2017
平均日数	5.5	5.3	5.5

4. 希望する出発日・帰着日

出発日は、過去2年と比べると分散する傾向に。12月26日（火）から1月4日（月）にかけてゆるやかに推移しており、ピークは29日（金）、30日（土）（データ6）。帰着日のピークは過去2年同様1月2日（火）・3日（水）だが、8日（月・祝）までなだらかに続く。月別のシェアをみると（データ7）、2015年から徐々に1月に入ってからの出発・帰国の割合が高くなっており、成人の日まで含めた休暇を検討する人が増えているようだ。

■データ6：希望出発日・帰国日（2015～2017年比較）



■データ7：希望出発日・帰着日の月別シェア（2015～2017年比較）

	2015	2016	2017
12月出発計	84.6%	75.4%	69.9%
1月出発計	15.4%	24.6%	30.1%

	2015	2016	2017
12月帰着計	36.9%	32.1%	26.0%
1月帰着計	63.1%	67.9%	74.0%